

曲中新時代！

校長発信 2024. 1. 15 NO. 26

1月15日(月)、1校時に3学期始業式を行いました。最初に入場した3年生の雰囲気づくりから始まって、整然とした緊張感の中で行われました。

各学年代表生徒、生徒会代表生徒による3学期に向けての抱負は、非常に堂々としていて聞き応えがありました。御苦勞様でした。

続けて表彰が行われ、男子テニス部、吹奏楽部関係の表彰を行いました。おめでとうございます。

この冬休み、曲中生の頑張りがたくさんあってうれしかったのですが、その中でも、北海道中学校新人剣道大会に出場した剣道部男子が、礼節賞をいただいたことは、非常に喜ばしいことでした。剣道は礼儀・礼節を大切にする武道であり、どの参加校もきちんとした態度で臨んでいるものです。その中でも礼節賞に値すると評価されたことは、大変誇らしいことでした。その誇りを胸に、今後の精進に励んでほしいものです。

最後に、生徒指導担当の1先生から、お褒めの言葉と励ましがありません。

3学期も頑張っていきましょう。



始業式での校長挨拶は、以下の通りです(次頁)。

今表彰された以外の人たちも含め、剣道、卓球、スキーなど、この冬休み、曲中生のたくさんの頑張りがありました。本当に御苦労様でした。

新年のスタートに当たって、3学期のスタートに当たって、ここにいる皆さんが、無事に元気で始業式が行えることをうれしく思います。

皆さんは新年を迎えて、今年はどういう年にしようと、しっかりと決意したでしょうか？いい年にできるかどうかは自分次第です。人のせいにする発想からは、進歩は生まれません。新年の抱負をしっかりと考えていなかったという人は、今からでも遅くありませんので、しっかりと考えてみましょう。

新年早々大変な自然災害と事故が発生しました。残念なことに、多くの方々が命を落とすことになってしまいました。本当にかわいそうです。希望に燃える新年を迎えたところだったのに…。

「かわいそう」と思う気持ち・感じる心はものすごく大切です。その心を、日常生活の中でも大切にしていってください。ただ、そこで立ち止まってははいけません。自然災害や事故に、自分が決して遭遇しないということはありません。決して他人事と考えず、お互いの命をしっかりと守る意識で行動していかなければなりません。

あなたは大地震や自然災害に遭遇した時に、自分だけでなく、周りの人の命も救える行動はできますか？

あなたは航空機の事故や学校周辺の地域で事故に遭遇した時に、自分だけでなく、周りの人の命も救える行動はできますか？

特別の場合に、最善の行動が取れるようにするには、どうしたらよいか？それは、**ふだんから最善の行動を心掛けて生活すること**です。ふだん自分や周りを大切にしていない人が、いざという時に力を発揮できるものではありません。

皆さんの可能性は無限です。ただしそのような意識を持って行動した場合に、です。

まとめの学期である3学期も、誇りある生活を心掛けながら、お互いの命と可能性をしっかりと育んでいきましょう。